

平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 高見澤
 コード番号 5283 URL <http://www.kk-takamisawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高見澤 秀茂
 (氏名) 大井 文成

TEL 026-228-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	10,403	12.9	99	29.4	63	△12.9	30	△25.5
23年6月期第1四半期	9,212	3.5	76	28.9	72	306.5	40	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 31百万円 (4,329.5%) 23年6月期第1四半期 0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	3.52	—
23年6月期第1四半期	4.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	26,579	5,760	20.2
23年6月期	25,522	5,767	21.2

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 5,372百万円 23年6月期 5,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	—	—	4.50	4.50
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	7.3	330	△8.4	300	△12.8	210	3.6	24.36
通期	43,000	0.4	510	△20.7	450	△31.6	300	△33.9	34.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	8,792,000 株	23年6月期	8,792,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	170,311 株	23年6月期	170,011 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	8,621,956 株	23年6月期1Q	8,624,170 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米諸国の財政問題や景気減速に端を発した歴史的な円高に加え、資源価格や材料費などの高騰により景気の先行きに不透明感が強まり、厳しい状況のまま推移しました。

当社グループの主体である建設業界におきましても、公共工事はもとより民間工事の減少と、企業の設備投資の抑制で厳しい状況が続いております。

一方、海外事業を展開している中国経済は、土地やマンション価格を抑えるため、金融政策や開発許可等で規制しています。当社が生コン製造販売を展開している山東省では地区により影響が異なり、青島市等の先進地域ではかなり不動産開発が減少しています。一方、都市周辺の農村でのマンション建設は盛んで、烟台市、淄博市等では生コン需要が活発で、当社合弁会社の販売も増加しています。

このような経済環境のなかにあつて、当社グループは、営業エリアの拡大とコスト削減の徹底で収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の実績につきましては、売上高10,403百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益99百万円（前年同四半期比29.4%増）、経常利益63百万円（前年同四半期比12.9%減）、四半期純利益30百万円（前年同四半期比25.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設関連事業

国内の建設関連事業では、建設資材販売が増加し、増収となりましたが、受注競争激化で減益となりました。また、中国市場においては、旺盛な建設需要により生コン販売は好調で増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,741百万円（前年同四半期比14.9%増）、営業利益は65百万円（前年同四半期比45.6%増）となりました。

② 電設資材事業

電設資材事業では、環境省エネ分野製品、工場ルートへの産業機器販売が順調で増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,901百万円（前年同四半期比16.9%増）、営業利益は31百万円（前年同四半期比149.4%増）となりました。

③ カーライフ関連事業

石油部門では、燃料油の販売は、需要の減少に伴い苦戦しましたが、油外の商品販売強化と原価低減に取り組むことで、増収増益となりました。オート部門では、新車、中古車販売が共に好調に推移し、車輛整備についても、ホリデー車検を中心に順調に入庫ができ、また原価低減にも取り組むことで、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,728百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は4百万円（前年同四半期比549.2%増）となりました。

④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、不動産部門では、分譲・建売物件の売買が増加し、増収増益となりました。農産物部門では、きこ培地の販売が順調に推移し増収増益となりました。新規事業のチーズ加工販売部門では、減価償却費負担が大きく、収益確保までは至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,032百万円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益は26百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ941百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が330百万円、受取手形及び売掛金が398百万円、たな卸資産が113百万円増加したことによるものであります。固定資産は12,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が108百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、26,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,057百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は14,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ544百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が443百万円増加したことによるものであります。固定負債は、5,954百万円となり、前連結会計年度末に比べ520百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、20,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,064百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益30百万円及び剰余金の配当38百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.2%（前連結会計年度末は21.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,315	1,645
受取手形及び売掛金	8,170	8,568
商品及び製品	1,561	1,645
仕掛品	893	917
原材料及び貯蔵品	209	216
その他	743	846
貸倒引当金	△93	△97
流動資産合計	12,801	13,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,669	7,850
減価償却累計額	△5,020	△5,064
建物及び構築物 (純額)	2,648	2,785
機械装置及び運搬具	4,508	4,688
減価償却累計額	△3,573	△3,606
機械装置及び運搬具 (純額)	935	1,081
土地	6,221	6,221
リース資産	482	477
減価償却累計額	△271	△273
リース資産 (純額)	210	203
建設仮勘定	868	693
その他	1,525	1,540
減価償却累計額	△1,314	△1,322
その他 (純額)	211	217
有形固定資産合計	11,096	11,204
無形固定資産	192	208
投資その他の資産		
その他	2,085	2,079
貸倒引当金	△653	△655
投資その他の資産合計	1,432	1,424
固定資産合計	12,721	12,837
資産合計	25,522	26,579

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,515	4,958
短期借入金	8,074	7,859
未払法人税等	59	45
賞与引当金	197	181
その他	1,473	1,819
流動負債合計	14,320	14,864
固定負債		
社債	50	50
長期借入金	3,122	3,618
退職給付引当金	1,152	1,153
役員退職慰労引当金	160	166
環境対策引当金	150	145
資産除去債務	59	59
その他	740	762
固定負債合計	5,434	5,954
負債合計	19,754	20,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	4,197	4,189
自己株式	△32	△32
株主資本合計	5,429	5,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	22
土地再評価差額金	△51	△51
為替換算調整勘定	△9	△19
その他の包括利益累計額合計	△30	△48
少数株主持分	368	387
純資産合計	5,767	5,760
負債純資産合計	25,522	26,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,212	10,403
売上原価	7,946	9,020
売上総利益	1,265	1,382
販売費及び一般管理費	1,188	1,283
営業利益	76	99
営業外収益		
受取利息	2	2
持分法による投資利益	29	12
仕入割引	23	24
不動産賃貸収入	13	14
その他	12	11
営業外収益合計	82	64
営業外費用		
支払利息	60	60
為替差損	12	9
その他	13	29
営業外費用合計	86	99
経常利益	72	63
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	2
投資有価証券評価損戻入益	—	5
その他	0	0
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	16	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34	—
特別損失合計	52	0
税金等調整前四半期純利益	20	71
法人税、住民税及び事業税	35	36
法人税等調整額	△64	△19
法人税等合計	△28	16
少数株主損益調整前四半期純利益	49	54
少数株主利益	8	23
四半期純利益	40	30

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49	54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△7
為替換算調整勘定	△39	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△1
その他の包括利益合計	△48	△22
四半期包括利益	0	31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5	12
少数株主に係る四半期包括利益	△4	19

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,386	4,192	1,700	932	9,212	—	9,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	8	72	31	137	△137	—
計	2,411	4,200	1,773	964	9,349	△137	9,212
セグメント利益	44	12	0	34	92	△16	76

(注) 1. セグメント利益の調整額△16百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,741	4,901	1,728	1,032	10,403	—	10,403
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	6	89	15	147	△147	—
計	2,778	4,907	1,817	1,047	10,551	△147	10,403
セグメント利益	65	31	4	26	128	△28	99

(注) 1. セグメント利益の調整額△28百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。